

2009
Jリーグ選手等ホームタウン活動調査

2010年3月31日
社団法人 日本プロサッカーリーグ

目次

■概要

リーグ全体傾向分析

- 2009年全体傾向サマリー
- サマリー(データ)
- 活動ジャンル別サマリー
- 活動ジャンル(2009年内訳、2006年/2007年/2008年/2009年比較)
- 活動対象者(1)(2009年内訳、2006年/2007年/2008年/2009年比較)
- 活動対象者(2)(2009年活動ジャンル×対象者、対象者数内訳)
- 活動主催団体(1)(2009年内訳、2006年/2007年/2008年/2009年比較)
- 活動主催団体(2)(2009年活動ジャンル×主催団体)
- 活動場所(1)(2009年内訳、2007年/2008年/2009年比較)
- 活動場所(2)(2009年活動ジャンル×活動場所)
- 活動月(2009年活動月、2009年活動ジャンル×活動月)
- 選手の活動(2009年活動回数分布、活動時間分布(2008年比較))
- 監督・コーチ・社長の活動(2008年/2009年活動数、活動ジャンル内訳)

クラブ別傾向分析

- 活動回数増減比率
- クラブランキング
- 活動ジャンル傾向(1)(サマリー)
- 活動ジャンル傾向(2)(データ)
- 活動対象者傾向(1)(サマリー)
- 活動対象者傾向(2)(データ)
- 活動時間の多い選手(上位3位)

クラブシート

- コンサドーレ札幌
- ベガルタ仙台
- モンテディオ山形
- 鹿島アントラーズ
- 水戸ホーリーホック
- 栃木SC
- ザスパ草津
- 浦和レッズ
- 大宮アルディージャ
- ジェフユナイテッド千葉
- 柏レイソル
- FC東京
- 東京ヴェルディ
- 川崎フロンターレ
- 横浜F・マリノス
- 横浜FC
- 湘南ベルマーレ
- ヴァンフォーレ甲府
- アルビレックス新潟
- カターレ富山
- 清水エスパルス
- ジュビロ磐田
- 名古屋グランパス
- FC岐阜
- 京都サンガF. C.
- ガンバ大阪
- セレッソ大阪
- ヴィッセル神戸
- ファジアーノ岡山
- サンフレッチェ広島
- 徳島ヴォルティス
- 愛媛FC
- アビスパ福岡
- サガン鳥栖
- ロアッソ熊本
- 大分トリニータ

■目的など

- ・選手のホームタウン活動への参加状況を、選手毎の参加時間まで詳細に把握する。
- ・クラブ間で情報共有し、今後の活動充実に結びつける。
- ・欧米には選手契約などで、年間の活動参加時間を義務づける例がある。

■調査対象

- ・2009年シーズンJ1/J2所属の36クラブによる、選手、監督・コーチ、社長(理事長)が参加したホームタウン活動

■調査方法

- ・2009年1月～12月に行われたホームタウン活動について、4期に分けて各クラブのホームタウン担当が調査票に入力
- ・質問項目
 - ①名称・活動内容 ②開催場所 ③開催時期 ④開催状況(終了/実施中/予定) ⑤開催回数
 - ⑥クラブ参加者・人数(選手/監督・コーチ/社長) ⑦参加者人数計 ⑧対象者区分・人数 ⑨活動主体
 - ⑩主な協力団体・分類 ⑪各選手活動時間

■留意点

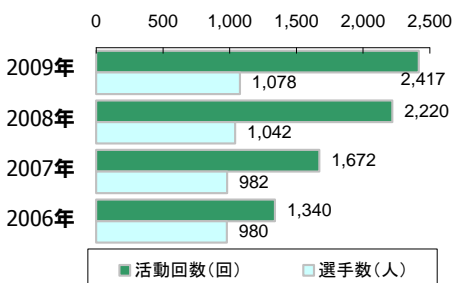
- ・広報/メディア活動について、特に日常的なメディア対応、定期的な応援番組等の出演はクラブ間の報告有無・回数に大きな差があったため分析上、別集計を行っている。
- ・全体の傾向分析のうち、p.6「活動ジャンル別サマリー」～p.15「選手の活動」については、選手もしくは監督・コーチが参加した活動を対象にしている。社長が行った活動はp.16でまとめている。
- ・2006年のみ、アンケート対象期間を各クラブの年度区切りとし、統一していなかったため、2007年、2008年、2009年と必ずしも期間は一致するものではない。

リーグ全体傾向分析

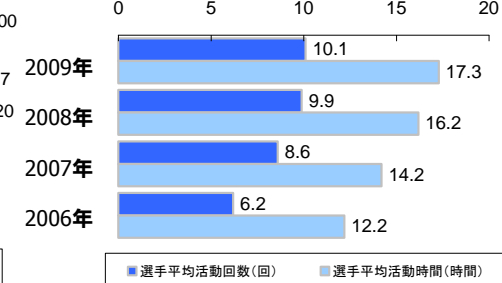
2009年全体傾向サマリー

・2009年の選手等(監督・コーチを含む)ホームタウン活動の活動総数は2,417回となり、08年の2,220回に対し8.9%増となった。参加した選手数は1,078人で08年の1,042人に比べ3.5%増(クラブ数は08年は33、09年は36)、選手1人当たりの平均活動回数は10.1回(08年は9.9回)、平均活動時間は17.3時間(同16.2時間)と、いずれも前年を上回った。

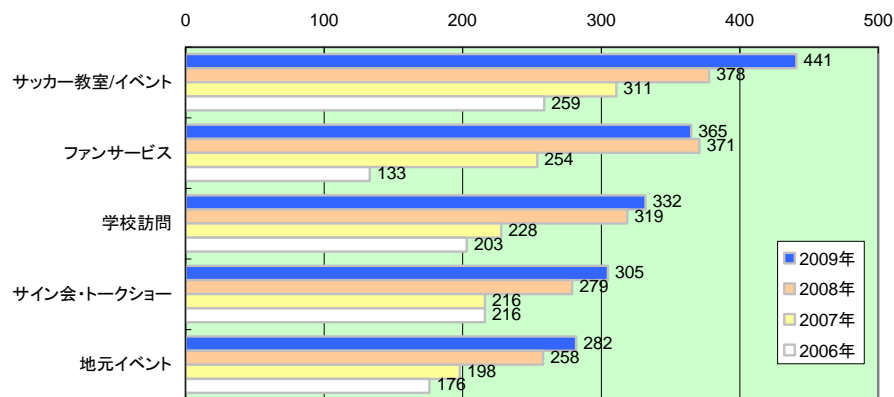
<2009年活動総数、活動選手数>



<2009年選手平均 活動回数、活動時間>



<活動ジャンル別 活動推移数(活動上位5位ジャンル)>



・活動数は多い順に、「サッカー教室/イベント」が441回、「ファンサービス」が365回、「学校訪問」が332回、「サイン会・トークショー」が305回、「地元イベント」が282回となった。上位5ジャンルは、2007年、2008年と順位は変わらず、いずれも増加傾向である。ただし「ファンサービス」は2008年より若干下回った。

・「サッカー教室/イベント」、「学校訪問」は「小学生以下」、「ファンサービス」、「サイン会・トークショー」は「ファン/サポーター」、「地元イベント」は「地域住民」を主な対象としており、各イベントが増えたことでその対象者とふれあう場が増えている。

・上位4ジャンルを筆頭に、「クラブ」主催のイベントが多く、活動数は1,469回。2006年の608回に比べて2.4倍に増加。クラブがホームタウン活動にここ数年、積極的に取り組んでいることがわかる。(p.10参照)

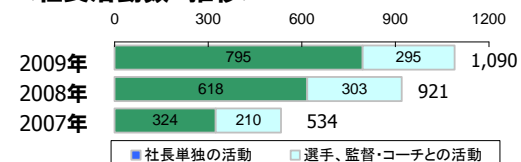
・「地元イベント」への参加にも協力的で年々増加しており、主な主催団体である「行政」、「自治会・商店街」、地元の実行委員会など、地域との連携も深まっていると考えられる。

・「ファンサービス」が2008年比で減少しているのは、新型インフルエンザでイベントを自粛したのも一因と考えられる。活動場所としての「スタジアム」が減少したのも同様。(p.12参照)

・活動時期は、6-8月に小さなピークがあり、12月に集中して活動している。他の月はほぼ変動がない。(p.14参照)

・選手以外では、社長活動数の増加が目立つ。社長単独の活動が2008年から3割近く増え、795回。一方、選手や監督・コーチとの同行活動数はほぼ変わらず295回となっている。総数では、年々増加し、2007年比で2倍以上となった。

<社長活動数 推移>



■選手/監督・コーチの活動総数： 2,417回/年
(2008年:2,220回/年)
(2007年:1,672回/年)
(2006年:1,340回/年)

■参加選手総数： 1,078人/年
(2008年:1,042人/年)
(2007年:982人/年)
(2006年:980人/年)

■1クラブ平均活動回数： 67.1回/年、5.6回/月
(2008年:67.3回/年、5.6回/月)
(2007年:53.9回/年、4.5回/月)
(2006年:43.2回/年、3.6回/月)

■選手延べ活動時間： 18,693.8時間/年
(2008年:16,882.6時間/年)
(2007年:14,419.4時間/年)
(2006年:11,964.2時間/年)

■社長の活動総数： 1,090回/年
(2008年:921回/年)
(2007年:534回/年)
※2006年データなし

■選手平均活動回数： 10.1回/年
(2008年:9.9回/年)
(2007年:8.6回/年)
(2006年:6.2回/年)

■社長の1クラブ平均活動回数： 30.3回/年
(2008年:27.9回/年)
(2007年:16.9回/年)
※2006年データなし

■選手平均活動時間： 17.3時間/年
(2008年:16.2時間/年)
(2007年:14.2時間/年)
(2006年:12.2時間/年)

活動ジャンル別サマリー

サイン会/トークショー (12.6%)

- ・07年から増加傾向。
- ・7割以上がファン/サポーターを対象にしている。
- ・クラブの主催が大半だが、スポンサーの主催で行うものも1/6を占める。
- ・スタジアムで開催するケースが6割程度あり、街頭/商業施設で行うものも相当数ある。
- ・7月の活動回数が最も多く、5月と8月が続く。

ファンサービス (15.1%)

- ・08年と活動数はほぼ変わらず、3年連続で2番目に多い活動。
- ・80%以上がファン/サポーターを対象とした活動である。
- ・クラブの主催が大半を占めるが、スポンサー主催のものも1割程度ある。
- ・スタジアムで開催されることが多く、2/3を占める。
- ・8月の活動数が最も多く、12月が続く。

支援団体/ボランティア向けイベント(1.8%)

- ・活動数は08年とほぼ変わらず。
- ・6割がクラブ主催、残りが後援会自ら主催している。
- ・スタジアムで開催するケースが最も多いが、一般貸しスペースで行うケースも多い。
- ・12月の活動数が最も多く、3月も多い。

スポンサーイベント (1.7%)

- ・07年をピークに減少傾向。
- ・クラブが主催となっているケース以外に、スポンサー自身が主催の場合もある。
- ・主に一般貸しスペースを利用して開催しているが、企業での開催もある。
- ・Jリーグのシーズン前後の2月、12月の活動数が多い。

地元イベント (11.7%)

- ・06年度より毎年増加傾向にある。
- ・地域住民を対象にしたものが半数以上で、次に不特定の人を対象にしたイベントが続く。小学生以下やファン/サポーターを対象にしたものもある。
- ・行政主催のイベントが1/3を占め最も多く、このほかスポンサーや地域の実行委員会のものもある。
- ・街頭/商業施設で全体の4割が行われ、次いで、スポーツ施設/公園で行われるケースも多い。
- ・夏休みの8月が最も多い。

サッカー教室/イベント(18.2%)

- ・09年で最も多い活動。06年より毎年トップの活動ジャンル。
- ・小学生以下の児童を対象にしたものが7割以上を占め、その保護者や中学生以上を対象としたものもある。
- ・約半数をクラブが主催、スポンサー(2割)、行政(1割)と続く。
- ・スポーツ施設/公園で実施するものが最も多く、スタジアム、クラブ施設、学校と続く。
- ・12月の活動数が最も多く、8月も次いで多い。

学校訪問 (13.7%)

- ・06年から増加傾向にあり、09年も3番目に多い活動となる。
- ・8割強が小学生以下の児童を対象とした活動で、幼稚園への訪問も含まれる。中学生以上を対象としたものもある。
- ・クラブ主催が約8割を占めるが、学校、行政主催の場合もある。
- ・7月の活動数が最も多く、6月が続く。

介護福祉活動 (4.7%)

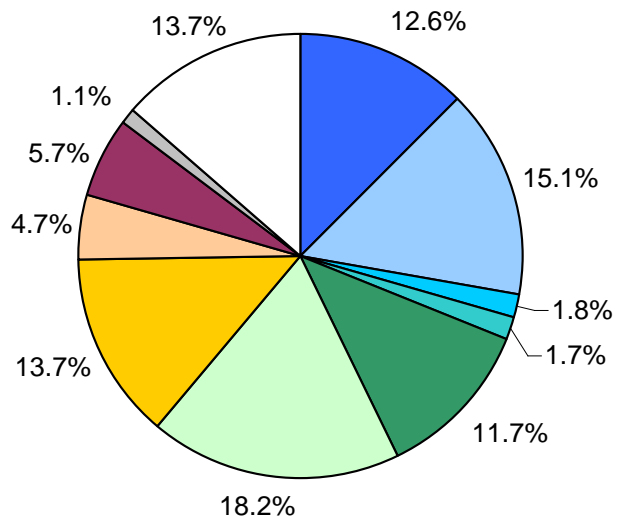
- ・活動数は08年より減少し、07年と同じ水準。
- ・半数以上が高齢者や障がい者を対象とした活動。養護学校の生徒など小学生以下を対象にした活動も多い。
- ・クラブが主催する活動が多いが、福祉団体等が主催するものもある。
- ・福祉施設や病院で行われる活動がほとんどで、他に介護予防事業や障がい者サッカーなどスポーツ施設/公園での開催も見られる。
- ・12月の活動が最も多い。慰問活動が多く実施されている。

表敬訪問 (5.7%)

- ・活動数は06年から毎年増加している。
- ・08年順位は7位だったが、09年は6位に上昇。
- ・行政が対象のものが半数近くを占め、不特定、スポンサー/株主を対象としたものもある。
- ・Jリーグのシーズン前後の12月、2月に活動数が多い。

活動ジャンル

◆2009年内訳



- サイン会・トークショー
- 支援団体・ボランティア関連活動
- 地元イベント
- 学校訪問
- 表敬訪問
- その他
- ファンサービス
- スポンサーイベント
- サッカー教室/イベント
- 介護福祉活動
- 講演会

・最も多い活動は、「サッカー教室/イベント」で、全体の中でも初めて400件を超えている。

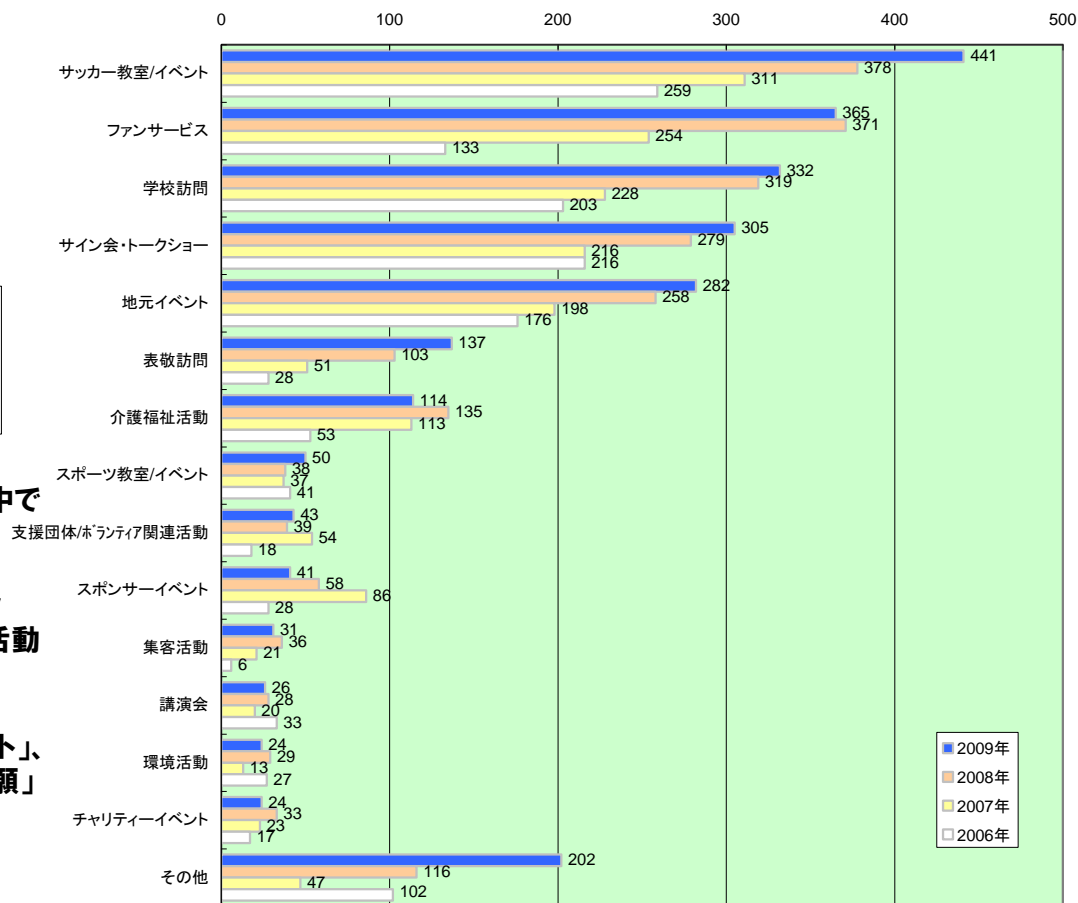
・以下、「ファンサービス」、「学校訪問」、「サイン会・トークショー」、「地元イベント」の順で続き、上位5ジャンルで活動の7割を占める。

・「その他」の活動には、「集客活動」、「チャリティーイベント」、「スポーツ教室/イベント」、「環境活動」のほか「必勝祈願」や「商店会挨拶回り」、「総合学習」も含まれる。

◆2009年/2008年/2007年/2006年比較

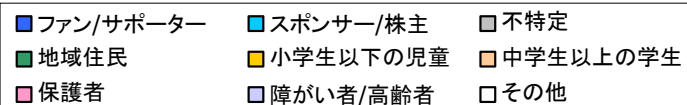
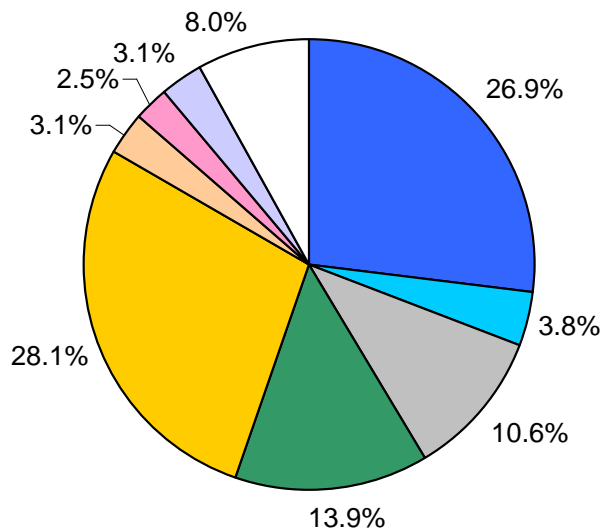
・「サッカー教室/イベント」は前年より17%増加して、2009年最も多い活動になる。

・活動の多い上位5ジャンルは、2007年、2008年と順位は変わらない。ただし、その中で「ファンサービス」のみ2008年比で若干減少している。



活動対象者(1)

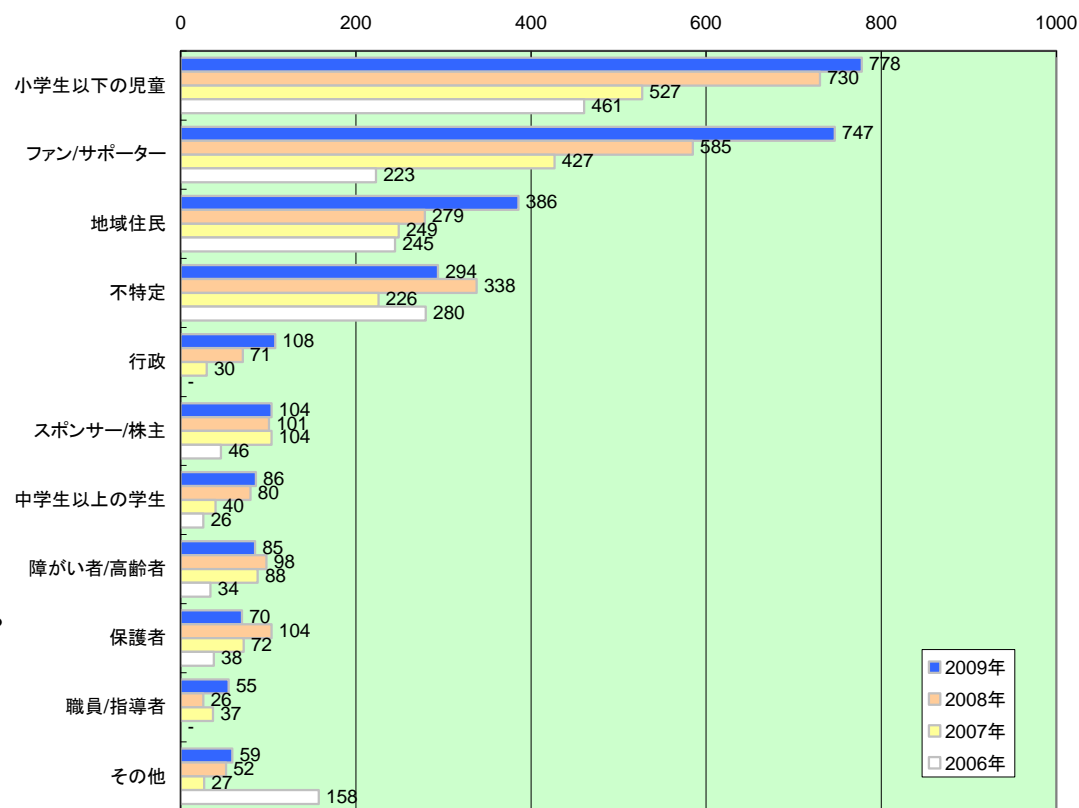
◆2009年内訳



- ・最も多い活動対象者は「小学生以下の児童」、2番目は「ファン/サポーター」。この2つが突出している。
- ・次に多い対象者は「地域住民」で、「不特定」が続く。
- ・「その他」は、知事や市長などの「行政」や「ボランティア」などが含まれる。

◆2009年/2008年/2007年/2006年比較

- ・2007年以降、「小学生以下の児童」と「ファン/サポーター」の上位2つが突出している傾向が続いている。
- ・「地域住民」、「行政」も2008年に比べ大きく伸びている。



※2006年の「行政」、「職員/指導者」は「その他」に含む

活動対象者(2)

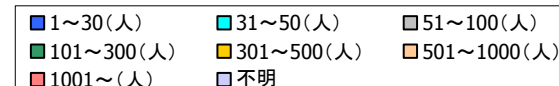
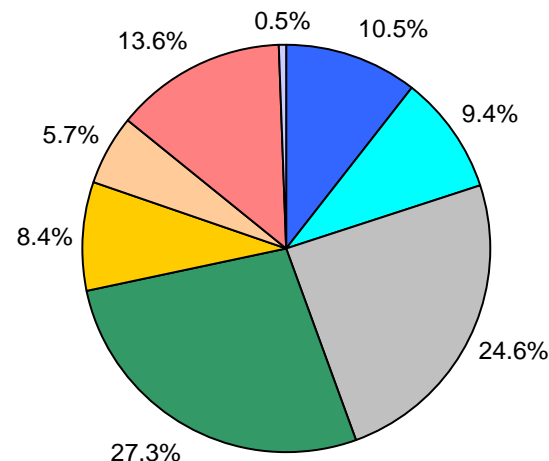
◆2009年活動ジャンル×対象者

- ・「サイン会/トークショー」は約70%、「ファンサービス」は80%以上が「ファン/サポーター」を対象とした活動である。
- ・「サッカー教室/イベント」は「小学生以下」を対象にしたものが多いが、同時に「保護者」も対象としたものも1割程度ある。
- ・「学校訪問」は「小学生以下」を対象にしたものが8割以上を占めるが、「職員/指導者」、「中学生以上」対象にした活動もある。
- ・「表敬訪問」は、役所へ知事や職員を対象に訪問するが、それ以外の役所へ来ている人や、選手へ会いに来ている「不特定」の人なども多い。

	ファン/サポーター	スポンサー/株主	不特定	地域住民	小学生以下	中学生以上	保護者	障がい者/高齢者	行政	職員/指導者	その他	合計
サイン会・トークショー	225	7	44	29	6	1	0	0	0	0	3	315
ファンサービス	320	1	19	12	16	1	1	12	0	0	3	385
支援団体・ボランティア関連活動	29	0	0	0	0	0	0	0	1	0	14	44
スポンサーイベント	1	39	1	1	0	1	0	0	2	0	3	48
地元イベント	16	7	80	157	17	1	7	0	7	0	11	303
サッカー教室/イベント	23	2	11	17	363	31	50	2	3	7	11	520
スポーツ教室/イベント	6	0	10	17	11	4	2	1	2	2	2	57
学校訪問	0	0	1	1	306	25	4	0	0	26	0	363
介護福祉活動	0	1	4	3	34	4	2	70	0	14	3	135
表敬訪問	0	32	54	5	0	0	0	0	83	0	0	174
講演会	0	3	6	2	3	6	2	0	1	4	2	29
チャリティーイベント	9	1	6	4	5	0	0	0	0	0	1	26
環境活動	5	1	6	7	3	3	2	0	0	0	2	29
集客活動	0	0	23	5	0	0	0	0	3	0	0	31
その他	113	10	29	126	14	9	0	0	6	2	4	313
合計	747	104	294	386	778	86	70	85	108	55	59	2,772

■:その活動ジャンルで最も多い □:その活動ジャンルで2番目に多い ※ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

◆2009年 内訳

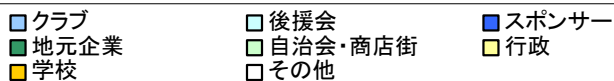
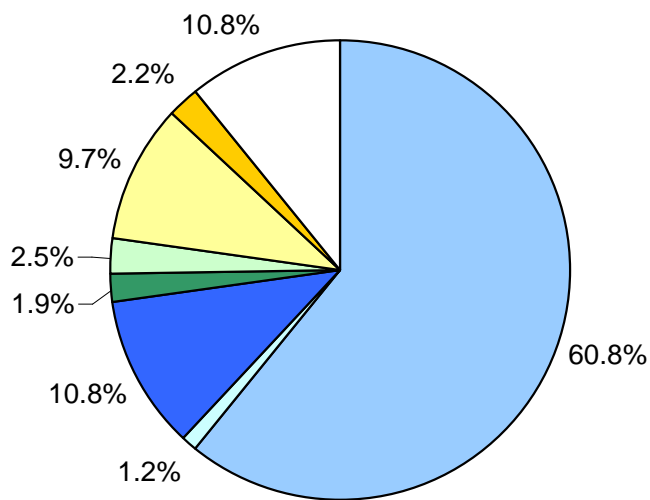


- ・「101~300人」規模の活動が最も多く、「51~100人」が続いており、この2つが突出している。
- ・「1~30人」、「31~50人」と比較的少人数を対象とした活動は、「介護福祉活動」や「学校訪問」、「サッカー教室/イベント」の比率が高い。
- ・「1001人~」の活動は、スタジアムでの「ファンサービス」や街頭/商業施設での「集客活動」の比率が高い。

※1つの活動について対象者は2つまで選択できるため、左表の「合計」は「合計活動数」を上回る。

活動主催団体(1)

◆2009年内訳



・クラブが主体となる活動が全体の6割以上を占めている。

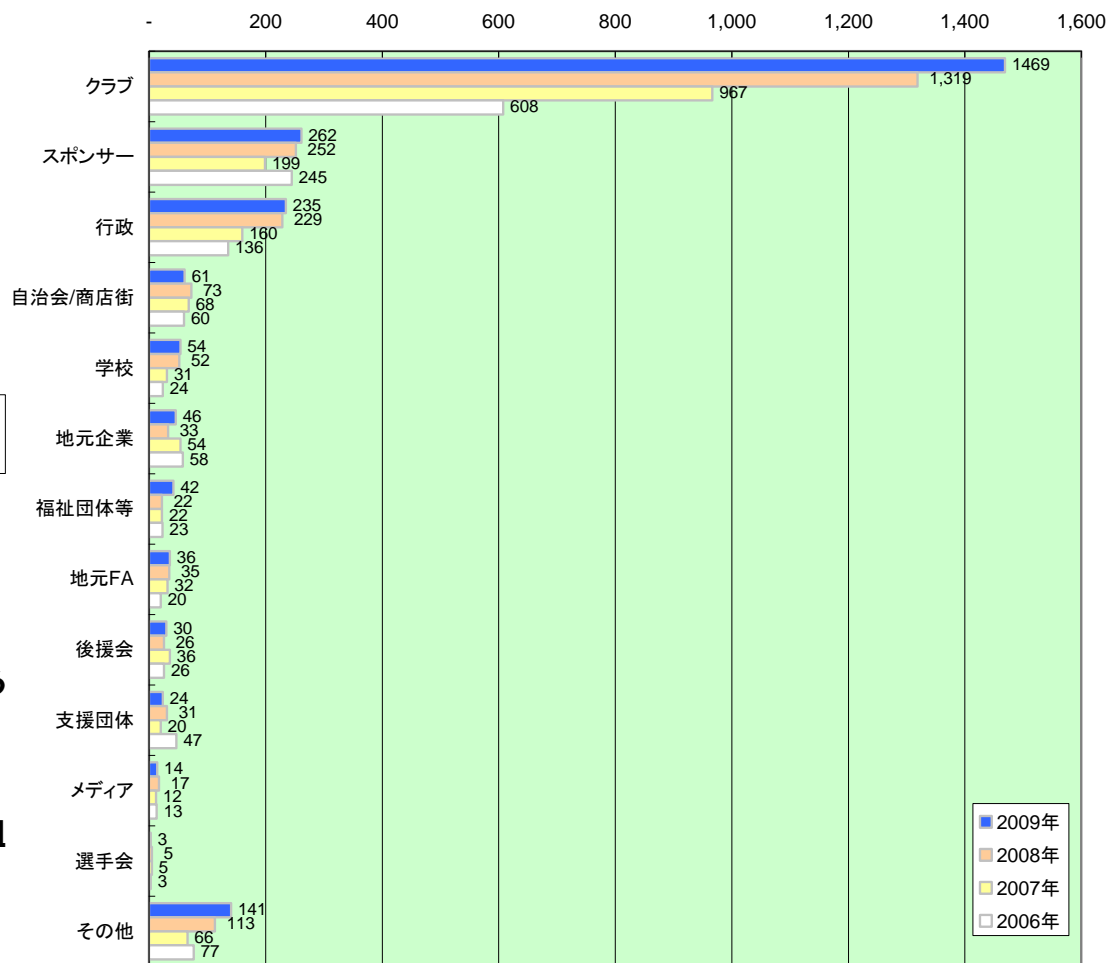
・その他の主催団体では、「スポンサー」、「行政」による活動が多く、ともに10%前後。

・「その他」には、「地元FA」や「福祉関係」、「メディア」、「リーグ/JFA」のほか、「スポーツ関連団体」、地元で組織された「実行委員会」、「NPO法人」、「神社」などが含まれる。

◆2009年/2008年/2007年/2006年比較

・クラブ主催の活動は毎年増加傾向にあり、全体に占める「クラブ」の割合も08年より1.4ポイント増加した。

・「スポンサー」、「行政」主催の活動は2008年と同様の活動数である。



活動主体団体(2)

◆2009年前期 活動ジャンル×主催団体

- ・「地元イベント」、「講演会」を除くすべての活動は、「クラブ」が主催するケースが最も多い。「クラブ」主催の活動は多い順に、「ファンサービス」、「学校訪問」、「サイン会・トークショー」、「サッカー教室/イベント」。
- ・「スポンサー」主催の活動も多い。最も多いのは「サッカー教室/イベント」で、「サイン会・トークショー」、「地元イベント」と続く。
- ・「地元イベント」、「スポーツ教室/イベント」は、「行政」が主催しているものが多い。

	クラブ	後援会	スポンサー	地元企業	自治会/ 商店街	行政	学校	地元FA	福祉団体等	その他	合計
サイン会・トークショー	225	1	51	5	4	3	2	1	1	12	305
ファンサービス	287	6	38	7	0	14	2	1	0	10	365
支援団体・ボランティア関連活動	26	15	0	0	0	0	0	0	0	2	43
スポンサーイベント	26	2	11	1	0	0	0	0	0	1	41
地元イベント	9	2	47	15	49	92	3	2	7	56	282
サッカー教室/イベント	198	3	87	8	4	47	10	29	12	43	441
スポーツ教室/イベント	11	0	2	0	2	22	0	1	2	10	50
学校訪問	260	0	1	0	0	20	29	0	0	22	332
介護福祉活動	82	0	3	0	0	9	1	1	12	6	114
表敬訪問	126	0	6	1	0	4	0	0	0	0	137
講演会	3	0	5	4	0	5	5	0	0	4	26
チャリティイベント	11	0	2	0	0	0	0	0	6	5	24
環境活動	13	0	2	0	1	6	0	1	0	1	24
集客活動	24	0	0	0	1	2	0	0	0	4	31
その他	168	1	7	5	0	11	2	0	2	6	202
合計	1,469	30	262	46	61	235	54	36	42	182	2,417

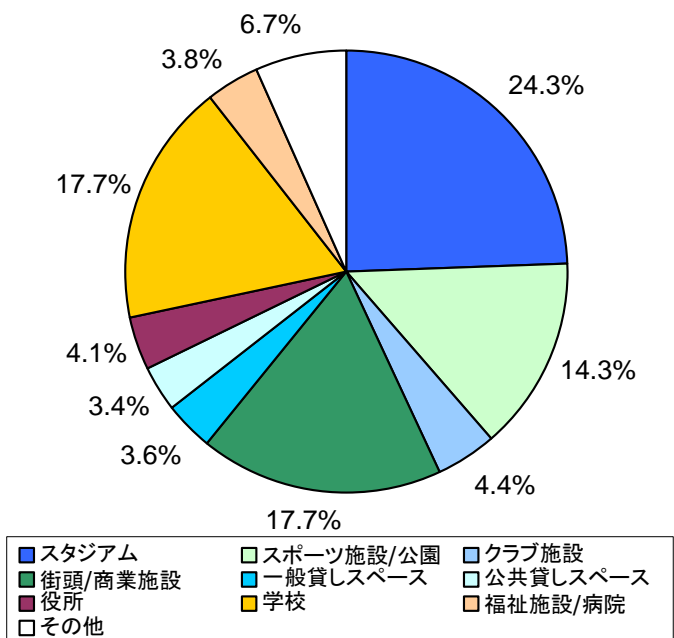
■ :その活動ジャンルで最も多い

■ :その活動ジャンルで2番目に多い

※ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

活動場所(1)

◆2009年 内訳



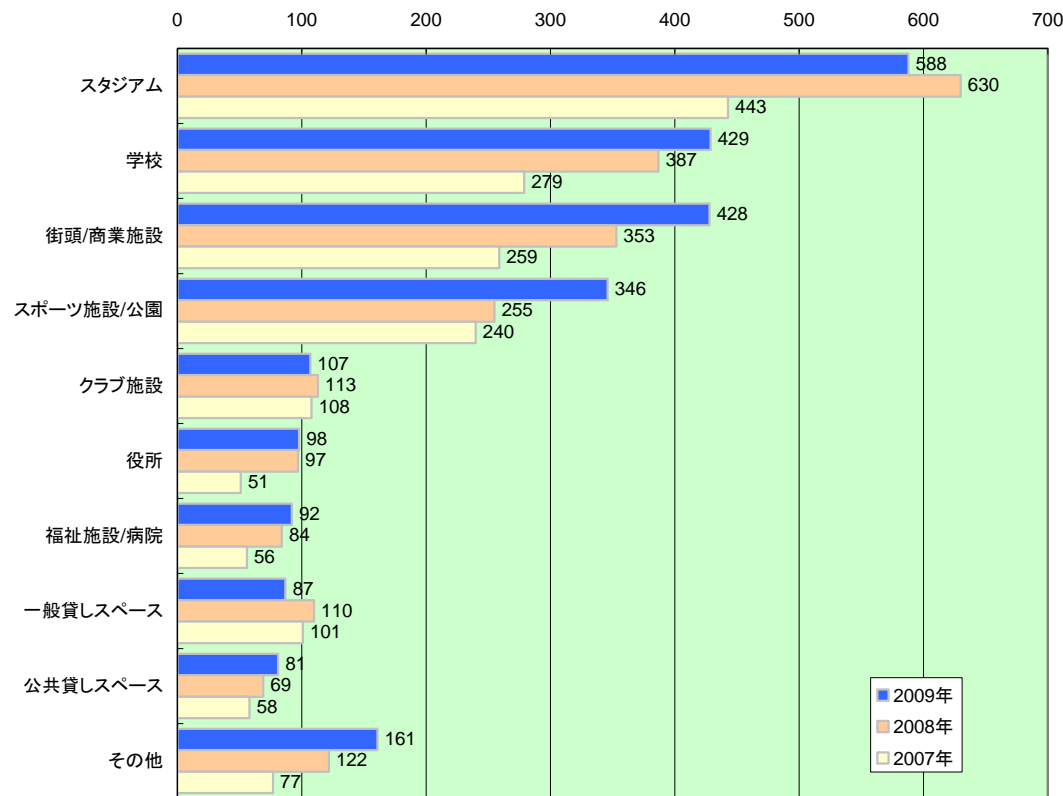
・「スタジアム」での活動が最も多く、全体の約1/4を占める。

・次に活動場所として多いのは、「学校」と「街頭/商業施設」でともに2割弱、これに「スポーツ施設/公園」が続く。

・「その他」の場所には、企業や神社、河川敷などが含まれる。

◆2009年/2008年/2007年比較

- ・「スタジアム」が突出していることに変わりはないが、活動数は2008年に比べ減少している。
- ・次に多い活動場所が「学校」。また「街頭/商業施設」が08年よりも2割以上増加したため、活動数では「学校」とほぼ並んでいる。
- ・「スポーツ施設/公園」は、2008年までに比べ相当数増加している。
- ・活動の多い上位4つは、2007年、2008年と順位の変動はない。



※2006年は調査対象に場所がなかったため、2007年からのデータ

活動場所(2)

◆2009年活動ジャンル×活動場所

- ・「サイン会・トークショー」、「ファンサービス」は「スタジアム」の開催が主となっているが、「街頭/商業施設」での開催も多く見られる。
- ・「地元イベント」は「街頭/商業施設」で最も多く実施されるが、「スポーツ施設/公園」や「公共貸しスペース」でも多く開催される。
- ・「サッカー教室/イベント」、「スポーツ教室/イベント」は「スポーツ施設/公園」での開催が最も多い。「サッカー教室/イベント」は他に「スタジアム」、「クラブ施設」、「学校」でも行われている。
- ・「介護福祉活動」は「福祉施設/病院」のほかに、介護予防事業や障がい者サッカーなどで「スポーツ施設/公園」でも実施されている。

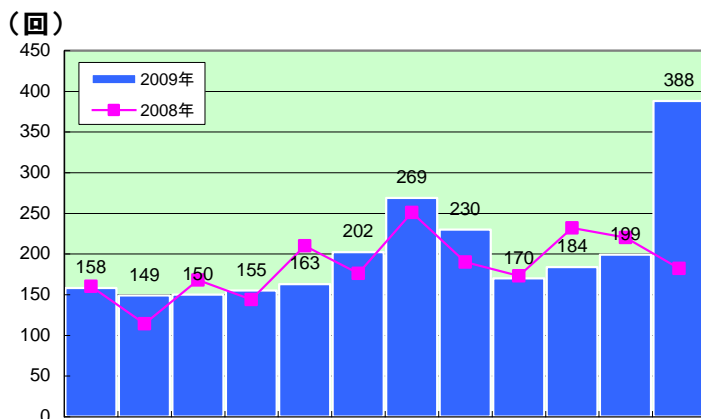
	クラブ施設	スタジアム	スポーツ施設/公園	一般貸しスペース	街頭/商業施設	学校	公共貸しスペース	福祉施設/病院	役所	企業	その他	合計
サイン会・トークショー	7	182	11	3	90	3	4	0	0	1	4	305
ファンサービス	16	242	19	21	43	2	16	0	1	3	2	365
支援団体・ボランティア関連活動	0	18	0	11	5	0	5	2	1	1	0	43
スポンサーイベント	1	2	2	25	0	1	3	0	0	7	0	41
地元イベント	4	4	41	16	110	18	34	4	16	13	22	282
サッカー教室/イベント	61	102	208	3	11	50	1	0	2	0	3	441
スポーツ教室/イベント	2	5	27	2	2	7	2	1	1	0	1	50
学校訪問	0	0	1	0	0	329	0	0	1	0	1	332
介護福祉活動	1	6	17	0	1	1	2	83	0	2	1	114
表敬訪問	0	0	0	0	2	1	0	1	63	58	12	137
講演会	0	0	0	3	0	12	6	0	1	4	0	26
チャリティーイベント	0	9	5	0	6	1	2	0	0	0	1	24
環境活動	0	2	4	0	7	3	0	0	1	1	6	24
集客活動	1	0	3	0	23	0	0	0	4	0	0	31
その他	14	16	8	3	128	1	6	1	7	0	18	202
合計	107	588	346	87	428	429	81	92	98	90	71	2,417

:その活動ジャンルで最も多い
 :その活動ジャンルで2番目に多い
 ※ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

活動月

◆2009年/2008年比較

- ・最も活動が多いのは12月で、08年最多の7月(251回)を大きく上回っている。中盤では7月に一度ピークがある。
- ・シーズン開幕直前の2月に活動回数が減る傾向はなくなり、08年よりも増加。ほかに、6月、8月も08年に比べ増加した。
- ・反対に、08年より5月、10月の活動回数は2割以上減少。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
J1			3/7~5/24				6/20~12/5						
J2		3/7~12/5											
ナビスコカップ			3/25~6/13				●準々決 (7/15、7/29)	●準決 (9/2、9/6)	●決勝 (11/3)				
その他		●ゼロックス杯(2/28)					●JOMO杯(8/8)						

◆2009年 活動ジャンル×活動月

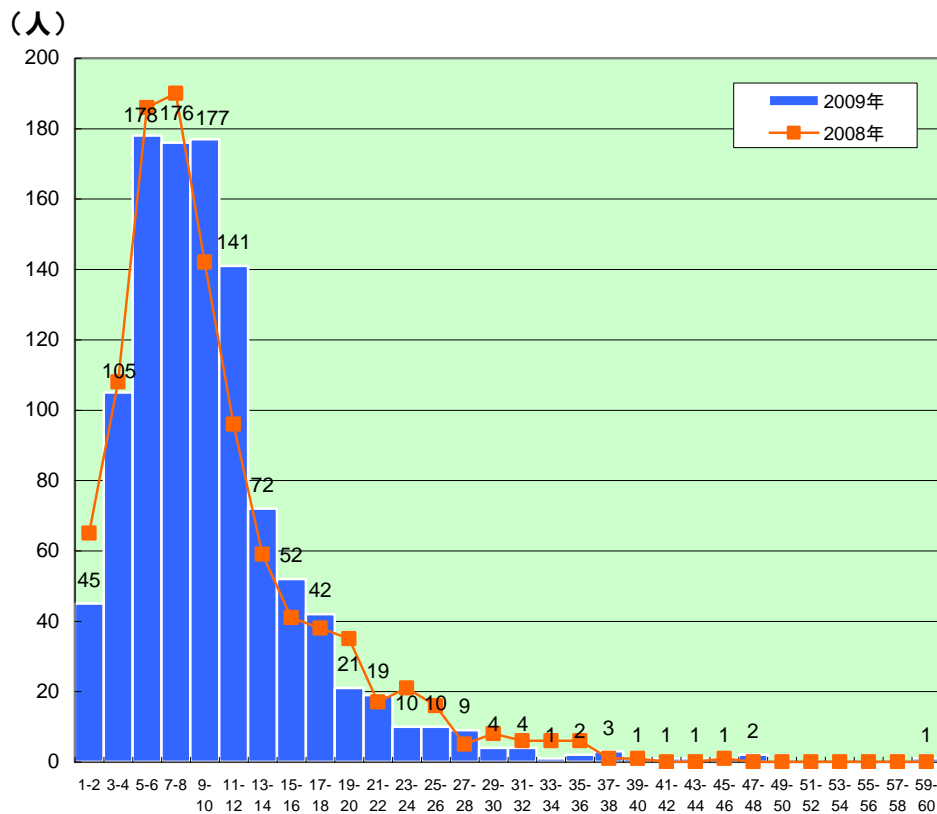
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
サイン会・トークショー	10	4	35	27	36	32	41	36	27	19	21	17	305
ファンサービス	27	18	21	29	36	28	35	44	30	33	24	40	365
支援団体・ボランティア関連活動	2	1	7	4	4	4	4	2	2	2	1	10	43
スポンサーイベント	4	9	5	4	0	1	1	3	1	2	2	9	41
地元イベント	9	11	10	12	18	17	29	55	26	34	39	22	282
サッカー教室/イベント	30	24	23	18	19	37	36	61	36	33	39	85	441
スポーツ教室/イベント	4	6	1	1	3	6	5	4	5	10	3	2	50
学校訪問	23	20	14	32	25	42	82	2	22	15	41	14	332
介護福祉活動	5	3	2	8	8	15	13	8	11	7	11	23	114
表敬訪問	11	30	14	3	1	3	8	0	2	4	3	58	137
講演会	2	2	1	0	1	3	4	3	1	2	4	3	26
チャリティイベント	4	0	0	2	0	0	1	1	1	10	3	2	24
環境活動	1	0	1	2	3	3	3	2	0	4	4	1	24
集客活動	1	7	5	3	1	1	3	0	2	7	0	1	31
その他	25	14	11	10	8	10	4	9	4	2	4	101	202
合計	158	149	150	155	163	202	269	230	170	184	199	388	2,417

- ・年間通して行われている活動は「サイン会・トークショー」、「ファンサービス」、「地元イベント」、「サッカー教室/イベント」、「学校訪問」。
- ・12月の活動数が増えた要因は、「サッカー教室/イベント」が08年比で倍増、「行啓訪問」も08年より50件近く増加したことなどによる。
- ・「地元イベント」、「ファンサービス」は夏休みの8月が最も多い。
- ・「学校訪問」、「サイン会・トークショー」は7月が最も多い。
- ・「集客活動」はシーズン開幕前の2月と終盤に向けた10月が最も多い。

選手の活動

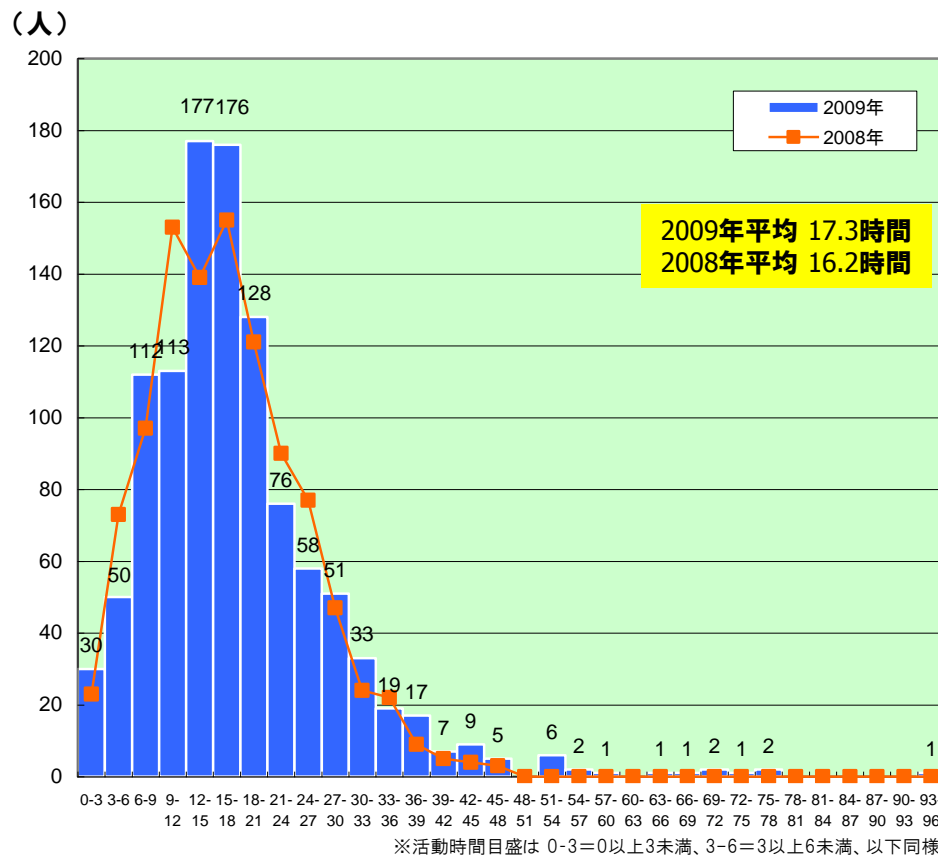
◆2009年活動回数分布（2008年比較）

- 選手ひとりの活動回数は、5回-10回が多く、約50%を占めている。
- 08年より、9回-12回の活動が約3割増加している。
- 最も多い選手の活動回数は59回。



◆2009年活動時間分布（2008年比較）

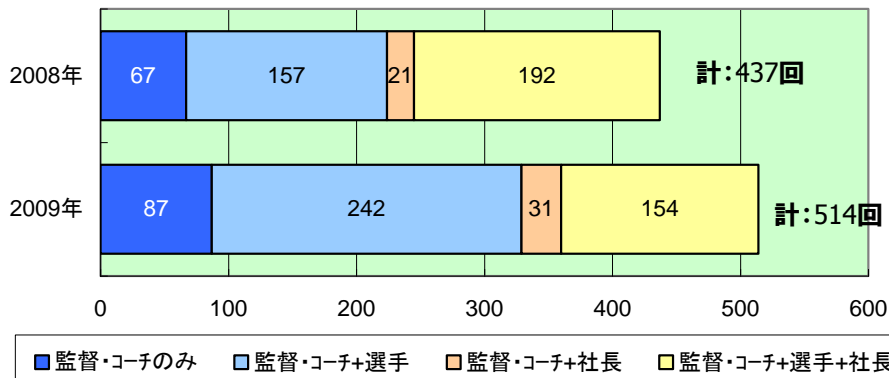
- 選手の活動時間のピークは12-18時間である。
- 08年の活動時間のピークは9-18時間だったのに対し、09年は、12-18時間に上昇したことで、平均時間活動が増加した。
- 最も多い選手の活動時間は、95.0時間。



監督・コーチ/社長の活動

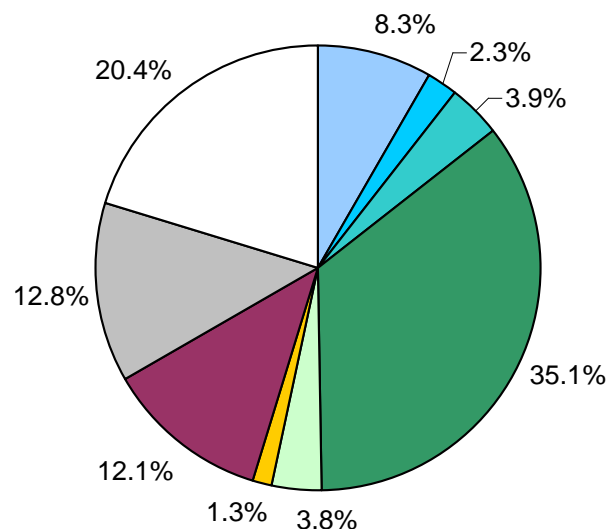
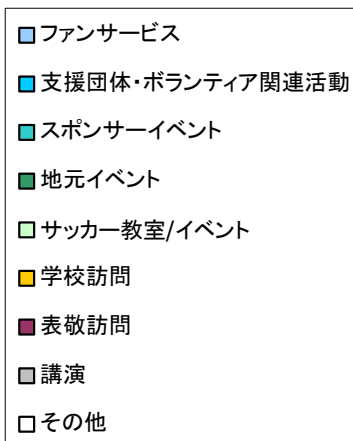
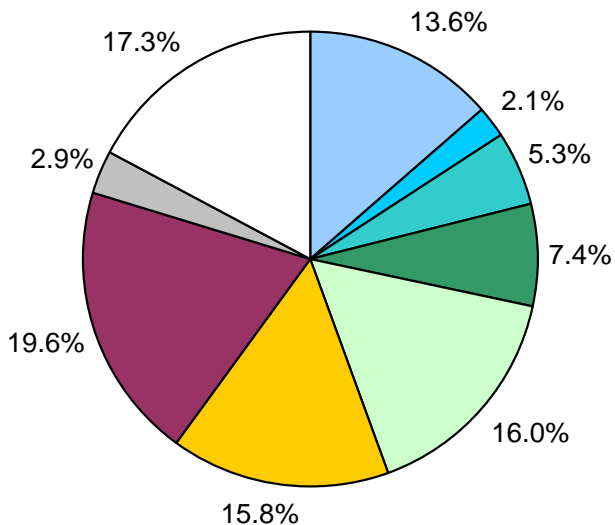
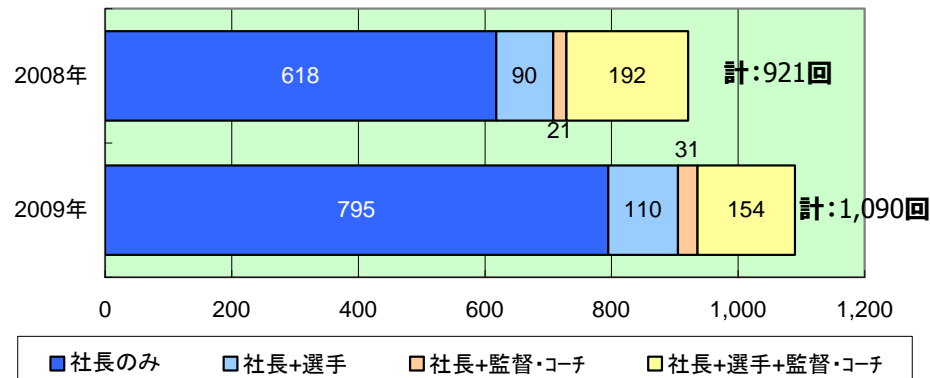
◆2009年 監督・コーチの活動

- ・監督・コーチが単独で行動するケースは、全体の17%で活動数は08年比増。選手と一緒に活動が最も多く、約半数を占める。
- ・活動ジャンルで最も多いのは「表敬訪問」、次いで「サッカー教室/イベント」、「学校訪問」の順になっている。
- ・「その他」には、「集客活動」、「スポーツ教室/イベント」が多い。



◆2009年 社長の活動

- ・社長単独での活動が全体の7割である。
- ・最も多い「地元イベント」には、地域の会議への出席のほか、新年会や交歓会等への参加も含まれる。
- ・「その他」には、「集客活動」やクラブのための活動(「必勝祈願」、「クラブ激励イベント、盛り上げプロジェクト」、「商店街巡回営業活動」など)が含まれる。



クラブ別傾向分析

選手の活動

※選手もしくは監督・コーチが参加した活動(社長単独の活動は除く)

・比較可能な全33クラブ中、半数以上の19クラブが08年より活動数が増えている。

・リーグ全体での活動回数は、08年度比8.9%増。

	2009年			2008年
	2008年比	2008年差	活動実数	活動実数
全体	108.9%	197	2,417	2,220
札幌	180.0%	32	72	40
仙台	90.3%	-3	28	31
山形	171.4%	10	24	14
鹿島	29.7%	-78	33	111
水戸	115.8%	9	66	57
栃木	-	-	73	-
草津	64.5%	-27	49	76
浦和	113.8%	4	33	29
大宮	174.3%	26	61	35
千葉	104.4%	2	47	45
柏	112.5%	5	45	40
F東京	295.8%	141	213	72
東京V	142.1%	16	54	38
川崎F	90.0%	-4	36	40
横浜FM	106.4%	3	50	47
横浜FC	162.1%	18	47	29
湘南	170.0%	35	85	50
甲府	94.2%	-6	98	104

	2009年			2008年
	2008年比	2008年差	活動実数	活動実数
新潟	131.7%	13	54	41
富山	-	-	43	-
清水	125.0%	21	105	84
磐田	90.7%	-5	49	54
名古屋	90.4%	-5	47	52
岐阜	191.8%	89	186	97
京都	124.5%	13	66	53
G大阪	95.5%	-6	127	133
C大阪	49.3%	-38	37	75
神戸	32.2%	-118	56	174
岡山	-	-	18	-
広島	105.7%	3	56	53
徳島	91.7%	-10	110	120
愛媛	69.4%	-30	68	98
福岡	87.5%	-6	42	48
鳥栖	129.0%	18	80	62
熊本	101.0%	1	98	97
大分	50.4%	-60	61	121

 :2008年比、100%以上

クラブランキング

■活動数

2009年の選手・監督・コーチの活動回数を比較

- ①F東京 (213回)
- ②岐阜 (186回)
- ③G大阪 (127回)

■延べ選手参加人数

2009年に参加した選手の延べ数

- ①岐阜 (851人)
- ②熊本 (652人)
- ③甲府 (534人)

■選手平均活動時間

選手1人当たりの年間平均活動時間

- ①岐阜 (48.0時間)
- ②熊本 (26.6時間)
- ③磐田 (26.5時間)

■上位選手の平均出場時間

活動時間上位10位までの選手の1試合平均出場時間

- ①清水 (53.3分)
- ②千葉 (51.5分)
- ③新潟 (48.8分)

■1つの活動の平均起用選手数

延べ選手参加人数を選手が参加した活動数で割ったもの

- ①鹿島 (10.0人)
- ②富山 (8.1人)
- ③草津 (7.1人)

■監督・コーチ／社長の活動回数

監督・コーチ

社長

- | | |
|------------|-------------|
| ①岐阜 (42回) | ①大宮 (147回) |
| ②G大阪 (37回) | ②川崎F (125回) |
| ②湘南 (37回) | ③F東京 (86回) |

■クラブ主催/その他主催比率

クラブ主催

その他主催

- | | |
|--------------|-------------|
| ①新潟 (100.0%) | ①浦和 (84.6%) |
| ②C大阪 (94.6%) | ②大分 (83.6%) |
| ③仙台 (92.9%) | ③岐阜 (69.9%) |

活動ジャンル傾向(1)(サマリー)

(各クラブの選手もしくは監督・コーチが参加した活動のうち最も多い活動で分類)

サイン会・トークショー

水戸、湘南、甲府、磐田、岡山

ファンサービス

札幌、鹿島、大宮、横浜FM、横浜FC、京都、神戸、熊本

学校訪問

栃木、千葉、柏、新潟、G大阪、広島、鳥栖

サッカー教室/イベント

草津、名古屋、岐阜、C大阪、徳島、愛媛、福岡

上記のジャンル以外

介護福祉

仙台

その他

F東京、川崎F

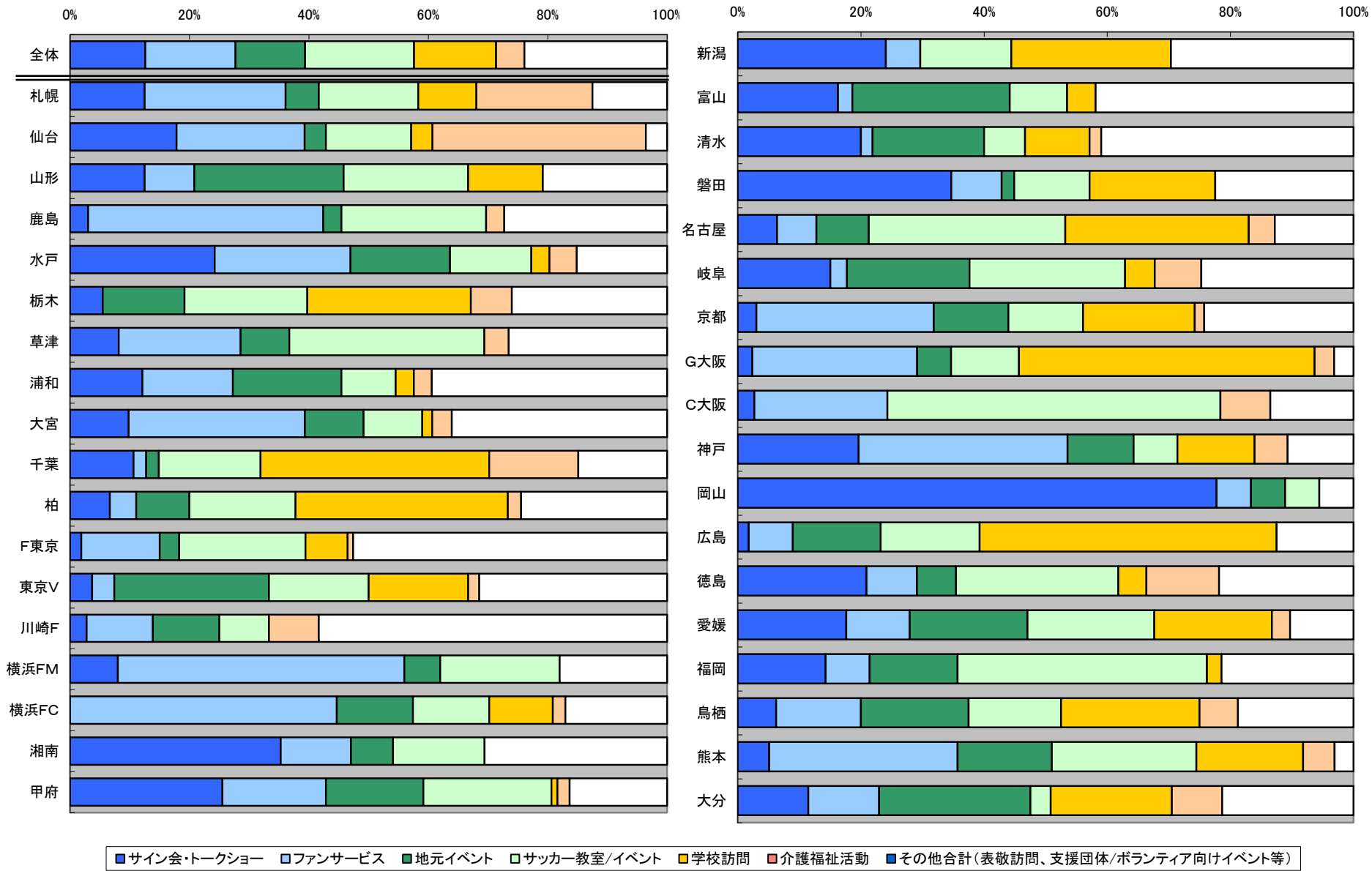
地元イベント

山形、浦和、東京V、富山、大分

表敬訪問

清水

活動ジャンル傾向(2)(データ)



活動対象傾向(1)(サマリー)

(各クラブの選手もしくは監督・コーチが参加した活動のうち最も多い活動で分類)

ファン/サポーター

仙台、鹿島、水戸、浦和(※)、大宮、F東京、横浜FM、
横浜FC、湘南、甲府、新潟、磐田、京都、岡山、
徳島、大分

不特定

富山、清水、神戸

地域住民

浦和(※)、川崎F

小学生以下

札幌、山形、栃木、草津、浦和(※)、千葉、柏、東京V、
名古屋、岐阜、G大阪、C大阪、広島、愛媛、福岡、鳥栖、
熊本

上記の対象以外

中学生以上

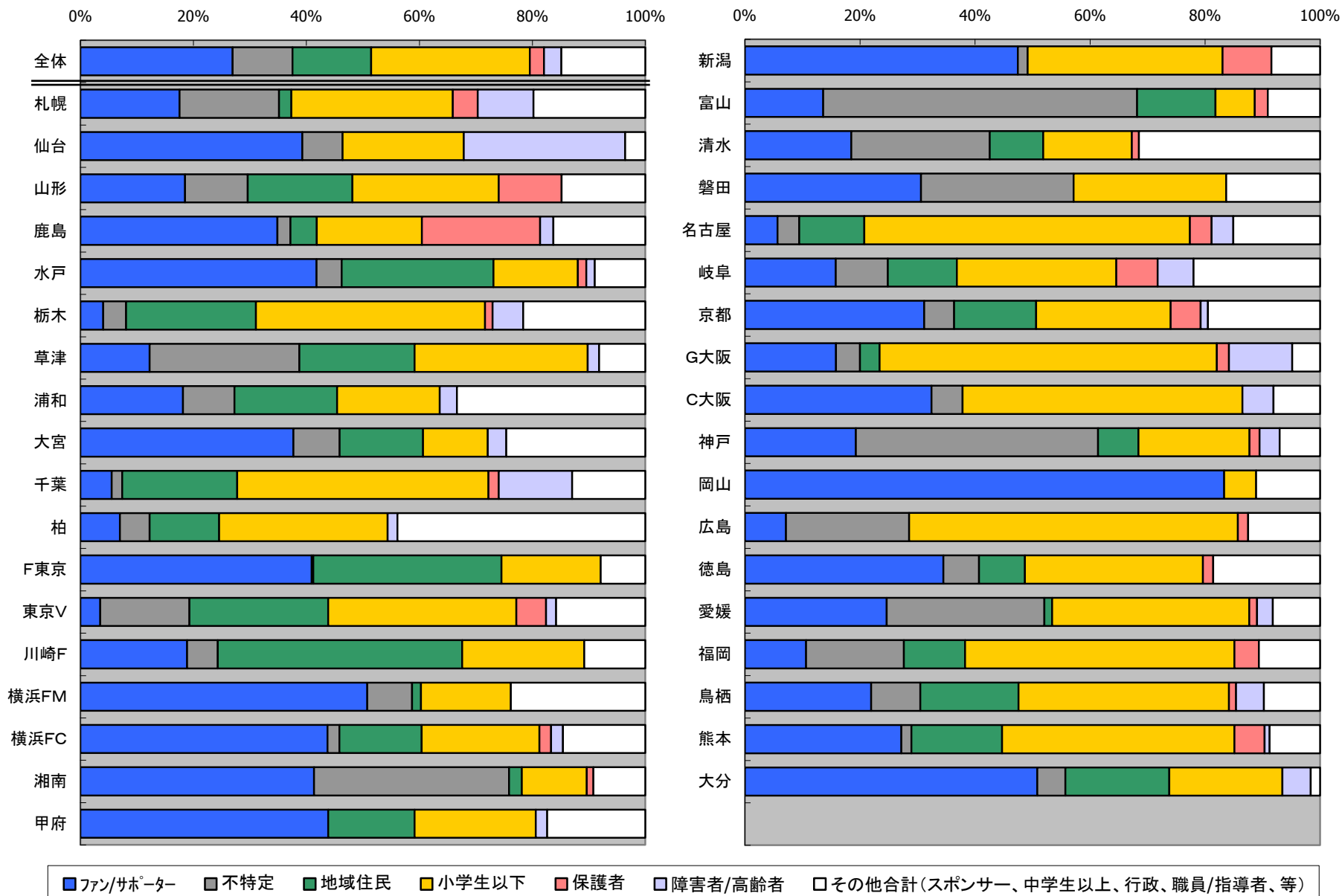
柏

行政

浦和(※)

※最も多い活動が複数あるクラブ:浦和

活動対象傾向(2)(データ)



活動時間の多い選手(上位3位)

札幌		仙台		山形		鹿島		水戸		栃木		草津		浦和	
石井謙伍	38.0	島川俊郎	8.0	山田拓巳	29.0	川島大地	26.0	鶴野太貴	39.0	柴崎邦博	51.0	秋葉信秀	34.0	西澤代志也	20.5
横野純貴	38.0	平瀬智行	6.0	廣瀬智靖	28.0	宮崎智彦	26.0	首藤慎一	38.0	入江利和	41.0	田中淳	30.5	鈴木啓太	18.5
宮澤裕樹	36.0	関憲太郎	5.0	太田徹郎	25.0	遠藤康	23.0	島田祐輝	31.0	赤井秀行	34.0	常澤聡	30.0	高橋峻希	17.5

大宮		千葉		柏		F東京		東京V		川崎F		横浜FM		横浜FC	
新井涼平	26.0	下村東美	18.0	比嘉厚平	14.0	田邊草民	39.5	土屋征夫	25.5	安藤駿介	21.5	端戸仁	42.0	久富賢	15.5
藤本主税	21.5	米倉恒貴	17.5	仙石廉	14.0	米本拓司	36.5	大黒将志	23.0	登里享平	18.0	天野貴史	40.0	伊藤竜司	14.5
土岐田洸平	20.0	岡本昌弘	17.5	山崎正登	14.0	梶山陽平	36.5	和田拓也	20.5	井川祐輔	18.0	阿部陽輔	36.0	鈴木寿毅	11.5
								福田健介	20.5						

湘南		甲府		新潟		富山		清水		磐田		名古屋		岐阜	
阪田章裕	16.0	唐澤大夢	37.7	内田潤	18.0	萩原洪拓	26.5	山本真希	19.5	上田康太	37.5	吉田麻也	32.5	重成俊弥	95.0
野澤洋輔	15.0	小池悠貴	33.2	北野貴之	16.5	江崎一仁	23.0	岩下敬輔	19.0	本田慎之介	34.5	小川佳純	28.0	野本泰崇	77.0
福田健人	15.0	井澤惇	31.5	中野洋司	16.0	今井大悟	22.5	市川大祐	16.5	岡田隆	34.5	山口慶	27.0	川島真也	75.5
島村毅	15.0							原一樹	16.5						
菊池大介	15.0														
鎌田翔雅	15.0														

京都		G大阪		C大阪		神戸		岡山		広島		徳島		愛媛	
守田達弥	23.0	平井将生	38.1	丸橋祐介	32.0	紀氏隆秀	15.5	植田龍仁朗	9.0	楢野智章	30.5	片岡功二	26.0	吉川健太	37.0
上里琢文	22.0	安田晃大	32.5	山口瑩	29.0	近藤岳登	15.0	川原周剛	7.0	森脇良太	30.0	大西孝治	21.0	兼田垂季重	31.5
渡邊大剛	21.5	星原健太	30.0	白谷建人	24.5	柳川雅樹	14.5	田所諒	6.5	横竹翔	30.0	ペスンジン	21.0	田森大己	31.0
						石櫃洋祐	14.5	小寺優輝	6.5						
								三原直樹	6.5						
								関口圭亮	6.5						

福岡		鳥栖		熊本		大分	
笠川永太	25.0	島寄佑	54.0	網田慎	44.5	高松大樹	23.0
神山竜一	22.5	谷田悠介	51.0	西森正明	43.5	森島康仁	21.0
山口和樹	21.0	赤星拓	45.0	山下訓広	43.5	金崎夢生	18.0

■ : 1試合当たり平均出場時間60分以上の選手

■ : 1試合当たり平均出場時間10分以下の選手